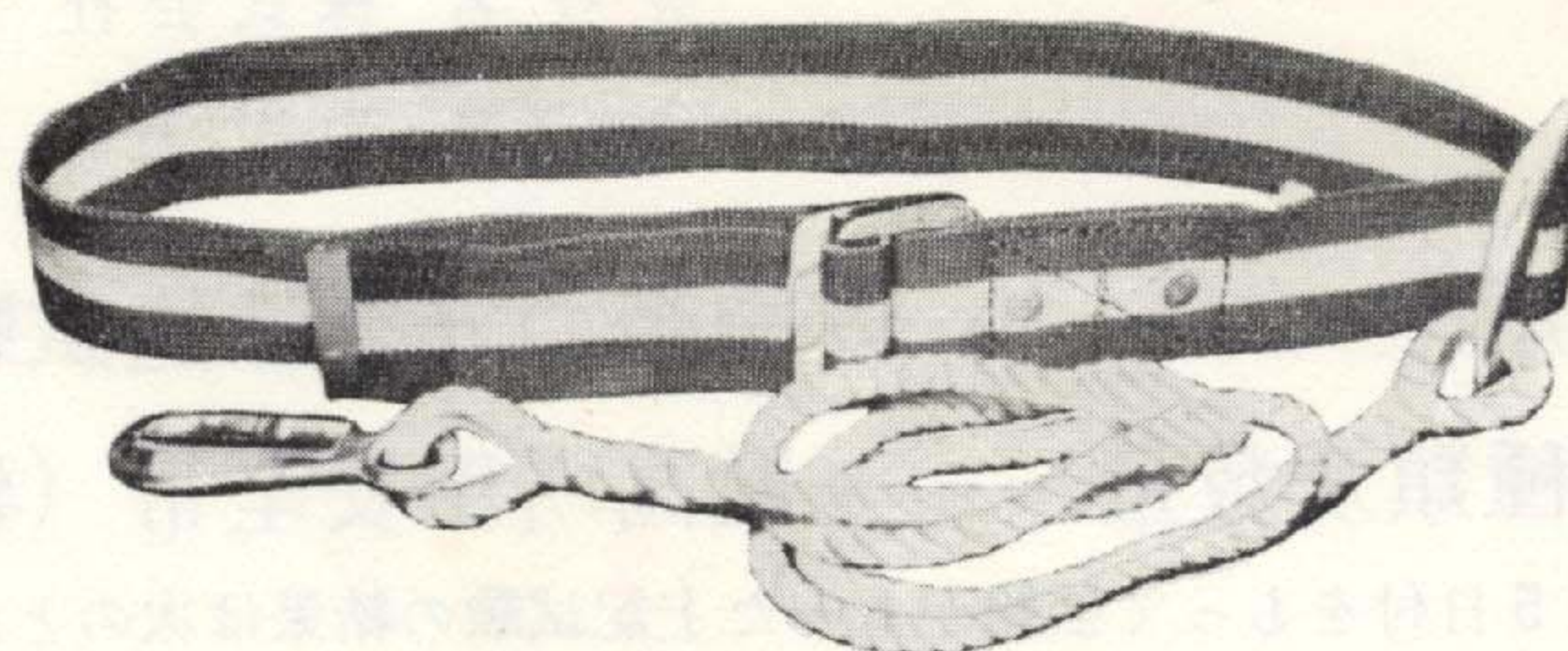


# 職場の安全のために タニザワ式建設型安全帯を ST#510-BR

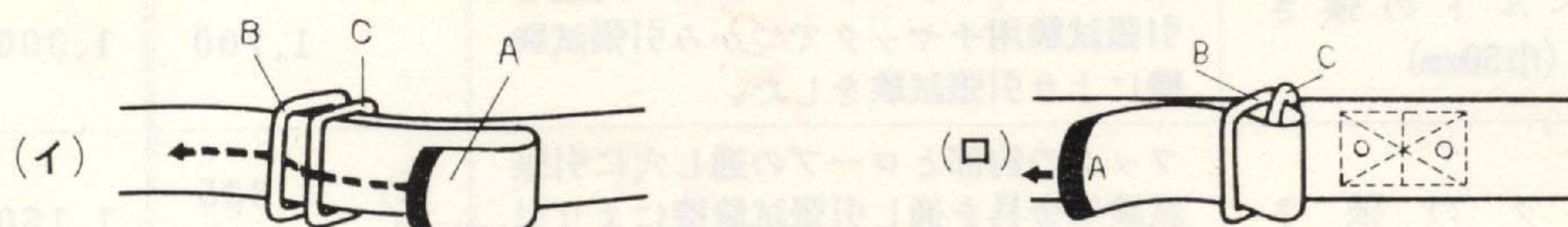
(一般高所用安全帯)

強 靱・軽 量・安 価・簡 易



ST#510-BR型

## バックル部使用説明図

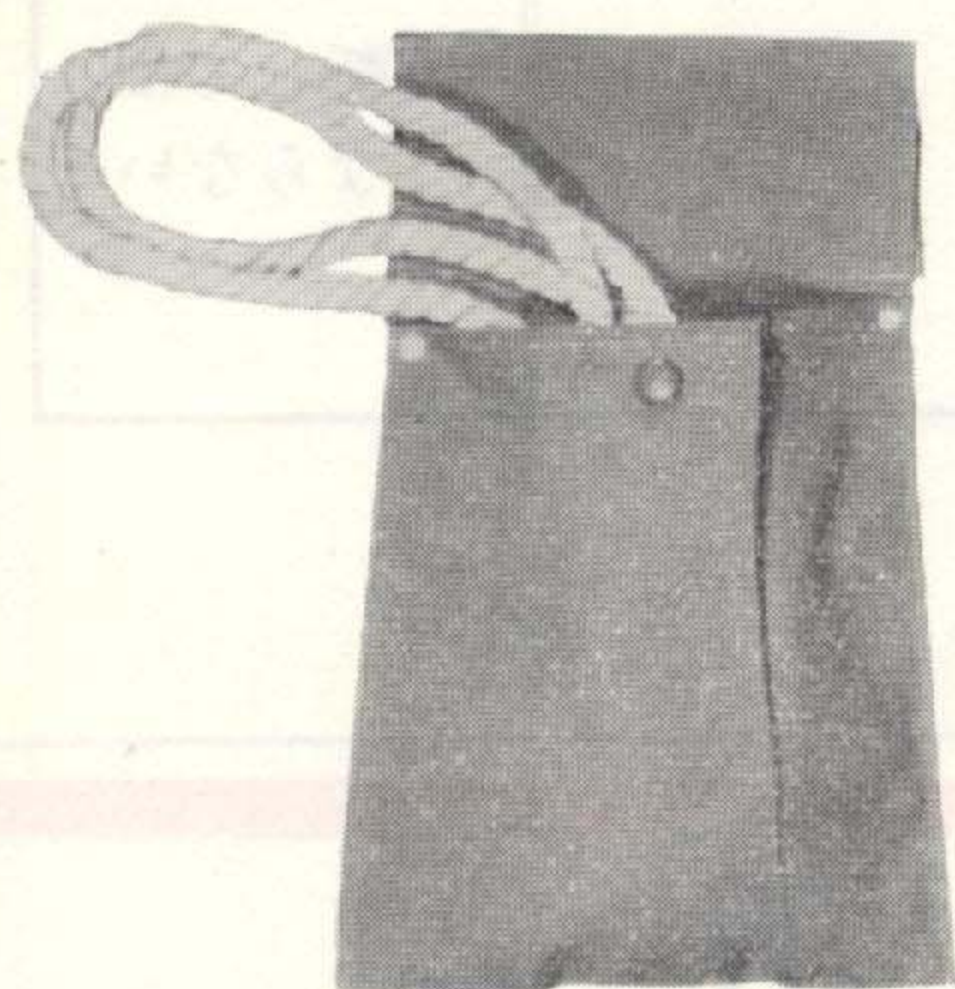


- (1) ベルトの一端Aを他の端に取付けた2ヶのバックル用角環B、Cに通し直ちに折り返してC角環を包みB角環に通す(イ図参照)
- (2) B角環に通したベルトの一端Aを折り返した方向に引張って適当に締める(ロ図参照)  
(二枚合せ折返し式のため絶対に滑らない)

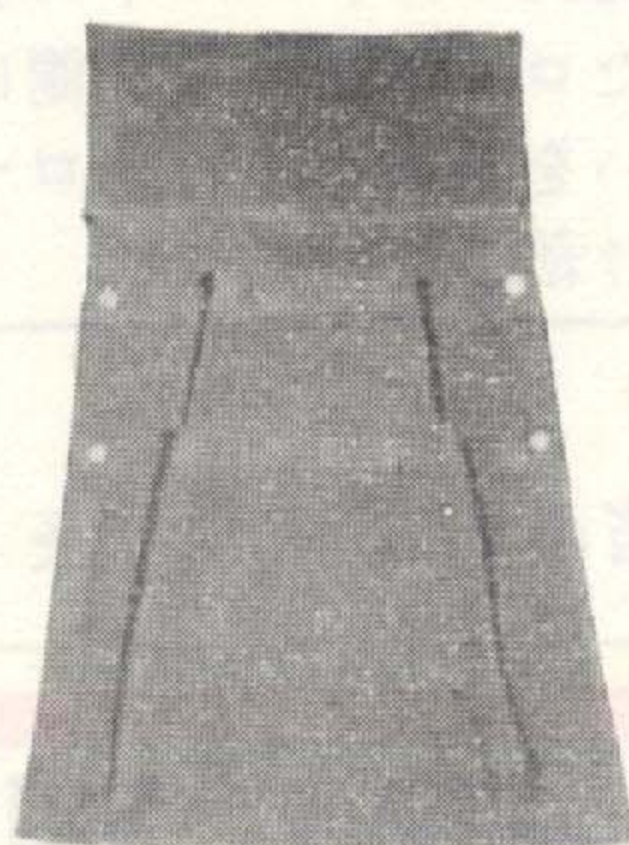
- ベルト……………ビニロン製 長さ1.2M
- ロープ……………ナイロン製 長さ1.5M
- 強 度……………日本工業規格。ILO 国際規格以上 (試験成績書裏面参照)

## 附 属 用 具

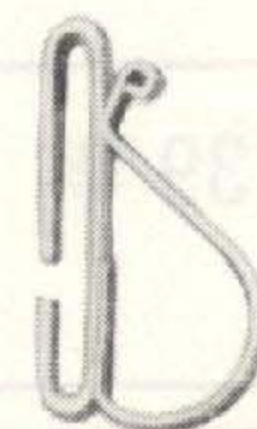
ロープ入れ袋



釘入れ袋



シノ差し



全日本産業安全連合会会員、日本保安用品協会会員、労働省産業安全博物館協会会員

産業安全用具  
製造販売

株式  
会社

谷 沢 製 作 所

本 社 東京都中央区京橋2-4 TEL (281) 3041 (代表)

営 業 所 大 阪・名古屋・仙 台・北九州・札 幌

試験番号第38-8-4号

〔抜萃写〕

## 試験成績書

依頼者所在地 東京都中央区京橋2-4

会社名 株式会社 谷沢製作所

代表者名 取締役社長 谷沢信雄

1. 試験の種類……………安全帯の安全性能試験
2. 供試品の種類及数量……………一般高所用安全帯（建設型）2本  
昭和39年3月5日付をもって依頼があった上記試験の結果は次のとおりです。
3. 試験方法及試験結果

試験項目	試験方法	破断強度 (kg)	JIS規格強度 (kg)
胴締めベルトの強さ (巾50mm)	胴締めベルトよりとった試料の両端を引張試験用チャックでつかみ引張試験機により引張試験をした。	1,700	1,300以上
フックの強さ	フックの鈎部とロープの通し穴に引張試験用金具を通し引張試験機により引張試験をした	① 1,325 ② 1,950	1,150以上
D環の強さ	D環のベルトを通す側とロープ取付側に引張試験用金具を通し、引張試験機により引張試験した。	① 3,600 ② 3,820	1,150以上
ロープの強さ	ロープの両端のアイに引張試験用金具を通し引張試験機により引張試験した	① 1,870 ② 1,820	1,700以上
バックルによる連結部の強さ	バックルを正規にかけた状態でベルトの両側にD環をとりつけこれを引張用金具を通して引張試験機により引張試験をした	① 1,200 ② 1,100	800以上
使用状態における強さ	安全帯を鉄塔の上部に吊した径260mm巾150mmの鉄製ドラムに巻きバックルによって締めつけ、ベルトのD環に取付けられたロープのフック側に65kgの鉄製重すいを結着しこれをロープの最大長さだけ落下させた	破断せず	破断してはならない

昭和39年3月23日

労働省産業安全研究所長

高梨 湛印

株式会社 谷沢製作所